

淀川大橋床版取替を特集

リペア会 定例会を開催

リペア会は第20回となる定例会(近畿支部担当)を6月14日、大阪市北区梅田の毎日インテシオで開いた。

近畿支部長の廣瀬彰則氏(エイト日本技術開発国土インフラ事業部技師

日本道路協会は6月15日、東京都港区の発明会館で第72回定時総会を開き、新会長に宮田年耕氏



宮田年耕

任された。宮田会長は「当協会は1947年の発足以来、社会経済の発展に大きく寄与してきた。諸先輩が100年先の未来を見据えて残してくれた優れた



(左)谷口名誉会長

示方書改訂等をけん引した会長職2年間を振り返り、会員の協力に謝意。「暮らしや経済を支える道路の役割、そして当協会の役割は今後、益々大きい」と話した。

士ピー・エス、震災復興道路・吉浜釜石道路の唐丹第二高架橋工事における土木事業のイメージアップに貢献した功績)、神田信也氏(首都高速道路、インフラマネジメン

功績)、林真弓(秋原工業、2016年8〜9月、北海道に上陸した台風被害を受けた国道38号清水町清見橋の復旧工事への貢献が評価)の3氏が受賞した。

出せるビジネスモデル構築を目指して、2014年に設立された。現在は点検、調査、診断、設計、工事、機材、材料、商社など異業種51社が参画し、一体での取り組みを目指している。また、

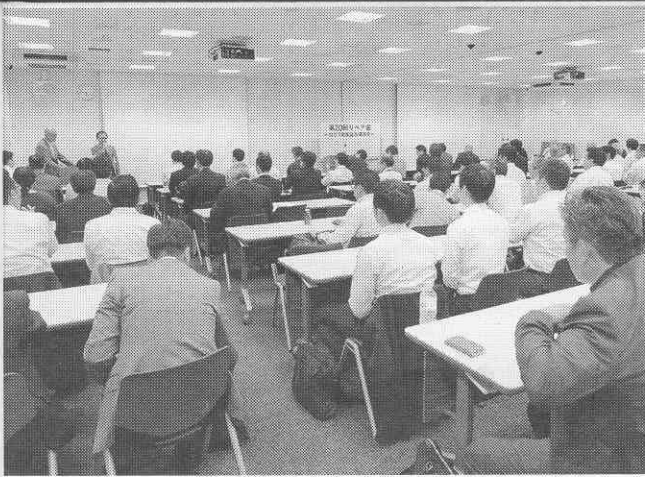
がたい。予想通り、120人以上に参集いただき感謝すると述べた。会長の

大塚久哲氏(九州大学名誉教授)の開会挨拶の後、国道2号淀川大橋の床版取替工事について4つの特別講演が行われた。

講演ではまず、国土交通省近畿地方整備局道路部道路工事課長の藤本昭彦氏が、国内初めての契約となる「技術提案・交渉方式(設計交渉・施工タイプ)」について、導入の背景、契約者決定までの流れなどを解説。

同局大阪国道事務所総括保全対策官の奈良明彦氏は、92年の歴史を持つ淀川大橋の概要、事例の少ないコンクリートから鋼への床版取替の工事概要等について講演した。

リペア会定例会の会場風景



田中会長「技術集め提案」

VSL協会が総会

VSL協会(会長田中茂義・大成建設取締役副社長)は6月12日、東京都新宿区の新宿ワシントンホテルで2018年度の総会を開いた。

田中会長は懇親会で、土木・建築ともに最盛期と比べて市場が縮小する中、建設業に携わる関係



田中会長



坂野教授

坂野昌弘氏が同橋の調査から補修方針決定までに関わってきた流れ、採用

された支圧接合型の新型ワンサイドボルト(IRS)を用いた「疲労フリー鋼床版」の研究開発、実証実験の結果、性能評価等について概説した。



廣瀬支部長

計画と床版取替工事の設計内容とその意義についてまとめた。

者が活力を得るためにも、最新の技術・工法等

で刺激しあうことの重要性に言及。協会が今春、VSLインターナショナルの技術者などを講師に迎えて開催した技術講演会にも触

れた上で、「国内外の技術の粋を集めて、我々なりの新設・保全の新しい提案を行っていきけるよう努力していきたい」と語った。

余話

護国寺から

ている神橋を境に、年に2回の大祓(おおはらえ

明治神宮の神橋(写真)は神域の精神性というより、景観造りの一環云々という前回記事をご覧になった神宮の広報調査課・福徳美樹さんから、次のようなメールをいただいた。

「当神宮境内の『橋』のことですが、残念なが



明治神宮の神橋